

2014年7月28日

インターンシップ等実務者研修会〔九州地区〕

関西地区研修会／成果報告
－更なる質の向上と量的拡充を目指して－

文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会委員
加藤敏明

本研修会の趣旨

○現代的教育ニーズ取組支援プログラム(通称:現代GP)

2004年「人材交流による産学連携教育」 11採択

2005年「人材交流による産学連携教育」 8採択

2006年「実践的総合キャリア教育の推進」 33採択

2007年「実践的総合キャリア教育の推進」 30採択

○産学連携による実践型人材育成事業

2005年 20採択

2006年 10採択

○大学生の就業力育成支援事業(通称:就業力GP)

2010年 180採択

●180採択の意味するものは、

中堅大学と中小企業

(就業力GP)



大学間、地域間連携

(産業界ニーズ事業、テーマA)



専門人材の育成

(産業界ニーズ事業、テーマB)

●我々が向かう先は、

国際標準

専門教育

複合的プログラム

中・長期間

有償

採用直結

専門人材の育成と配置

専門人材とは
—国際標準に照らして—

管理者タイプ【独立系】

- ①学内外調整
- ②決裁権

教育プログラム開発タイプ【教員系】

- ①P開発と実践
- ②情報収集、発信
- ③大学間連携

導入教育、学修支援タイプ【教員系】

- ①P開発と実践
- ②情報収集、発信
- ③大学間連携

学内調整タイプ【専任教員系】

- ①研究科、学部、学科内調整
- ②大学間連携

業務遂行タイプ【職員系】

- ①学生対応
- ②企業等開拓
- ③大学間連携

関西地区研修会までの成果 〔質の向上〕

● 専門人材に必要な資質、能力は

「関西地区研修会」6月27日、大阪

講義系科目とインターンシップ等実践系科目の
両輪をとともに手掛けられる力量
(京都産業大学)

①本気度、 ②非・打算的ネットワーク、
③脱・啓蒙的折衝 の3つの資質
(長浜バイオ大学ほか)

学生の学習意欲の低下に正面から向き合い
魅力的な教育プログラムを開発する能力
(摂南大学、京都学園大学)

● 専門人材は、どのように育むべきか

「情報交換会」6月12日、東京

「専門人材は、OJTの中からはしか生まれない」
「各大学の貴重な人材を集め体制整備が必要」
(関西地域グループ発表)

●専門人材は、どのように育むべきか

「関西地区研修会」6月27日、大阪

人材を外部から取り込む
(追手門学院大学)

若手教員の第二専門領域に位置付ける
(長浜バイオ大学)

教育評価システムを構築する
(高知工科大学)

関西地区研修会までの成果 〔インターンシップの拡充〕

●乗り越えるべき課題

「関西地区研修会」6月27日、大阪

マッチング業務

評価シートの共通化、簡素化

代替インターンシッププログラム

企業の受入プログラムへの要望

企業開拓業務



教育機関としての主体性